研究テーマ 社会的インパクト評価

所属 大学院学術研究部都市デザイン学系

准教授 猪井 博登
https://researchmap.jp/read0210120

研究分野	土木計画学
キーワード	

研究室URL：

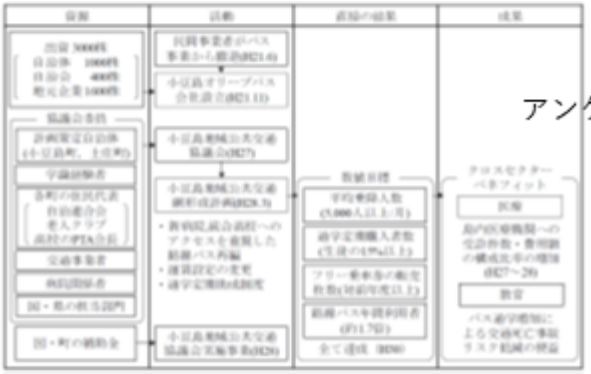


研究の背景および目的

お出かけの足の確保は喫緊の課題である。その実現のためには、投入した資源、アウトカム、アウトプットの整理が必要となる。本研究では、社会的インパクト評価を用いて、お出かけの足の確保の評価を行っている。

■主な研究内容

- 地域の交通の現状、実施している交通の整備内容から、その地域での「資源」「活動」「結果（アウトプット）」「成果（アウトカム）」をTheory of Change（TOC）として整理。
- 調査を通じて、TOCの確認。
- TOCをフィードバックし、参加者の増大を図る。



既往研究（香川県小豆島）で設定したTOC

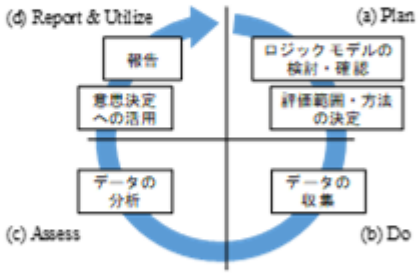
アンケート調査



既往研究（香川県小豆島）におけるTOCの把握

期待される効果・応用分野

- PDARUサイクル（Plan→Do→Access→Report & Utilize）による評価。既存のPDCAサイクルと異なり、サイクルごとに参加者が増加することを意図して実施。
- 参加型計画への適用性が良い。
- 住民参加型交通への適用。



■共同研究・特許など

- 平野 里奈, 土井 健司, 猪井 博登, 青木 保親, 山崎 晴香：地域公共交通を対象とした社会的インパクト評価に関する研究 ―地方路線バス網の再編を対象に―、土木計画学研究・論文集 第37巻（特集）、75 巻 6 号 p. I_555-I_564 、2020　を参照のこと

富山大学研究者プロファイルPure URL：
https://u-toyama.elsevierpure.com/ja/persons/hiroto-inoi/